

新空港線「蒲蒲線」

平成28年度活動報告

- 1. 新空港線とは 2ページ
- 2. 都市鉄道等利便増進法の基本的枠組み 3ページ
- 3. 新空港線の概要 4ページ
- 4. 答申第198号の内容 5～8ページ
- 5. 平成28年度調査の報告 9～12ページ
- 6. まとめ 13ページ

平成29年3月28日

大田区

1. 新空港線とは

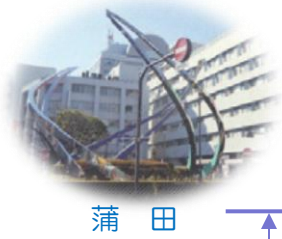


JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅の
約800mを鉄道で結ぶ路線
区内東西交通の分断解消に向け
昭和60年代から整備を目指す。

- 都市機能の高度化
- 補強される鉄道ネットワーク

■ 空港アクセスの充実

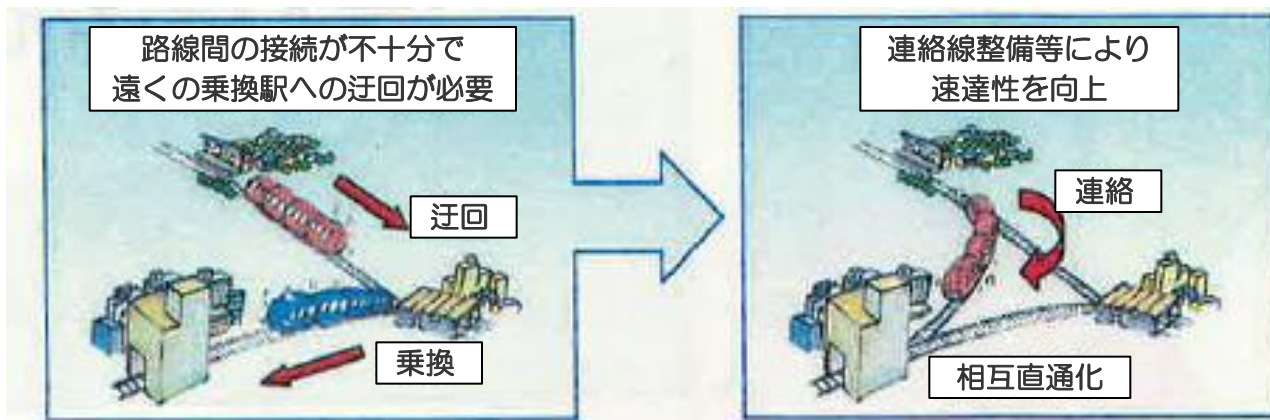
東横線、副都心線、西武池袋線、
東武東上線との相互直通運転により
副都心、埼玉方面と羽田空港間の移
動が格段に便利に



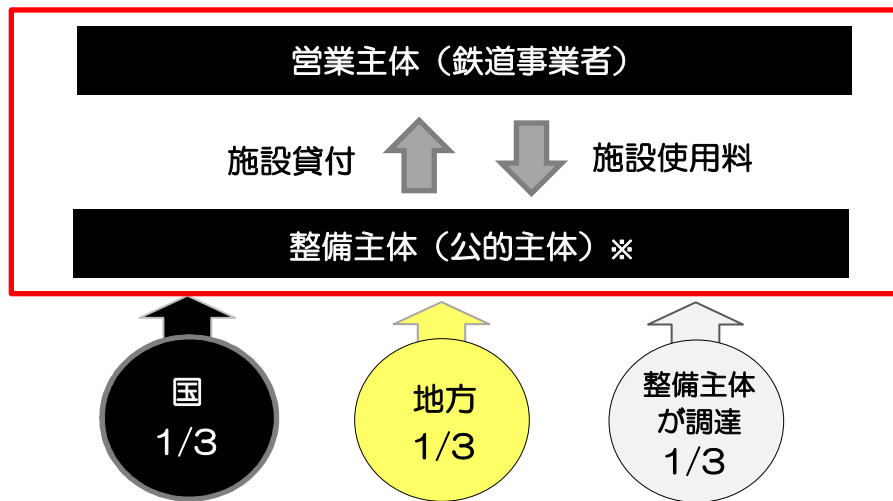
2. 都市鉄道等利便増進法の基本的枠組み

●事業の意義

既存路線を有効活用して鉄道ネットワークを向上させる
(例) 東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ路線



●都市鉄道利便増進事業費補助金

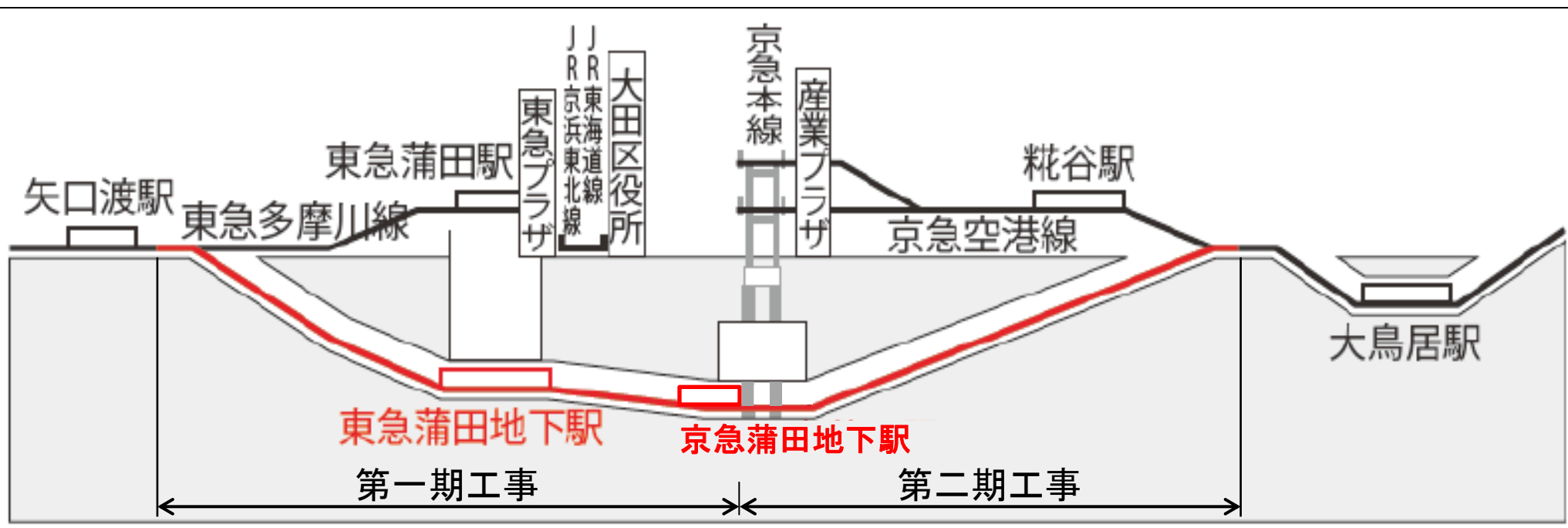


●スキーム概要

鉄道を運行する「営業主体」(上)と駅・線路など施設を整備する「整備主体」(下)に分かれて行う上下分離方式を採用する

上	営業主体 (東急電鉄)	鉄道運行管理業務
下	整備主体 (鉄道・運輸機構又は第3セクター) ※第3セクターは大田区、東急等が出資した会社を想定	駅・線路などの建設費 = <u>事業費が発生</u>

※：鉄道運輸機構又は第3セクター



新空港線は、東急多摩川線矢口渡駅付近から多摩川線を地下化し、東急蒲田駅（地下）、京急蒲田駅（地下）を通り、大鳥居駅の手前で京急空港線に乗り入れる計画です。

新空港線の評価

—答申第198号(平成28年4月20日公表)より抜粋—

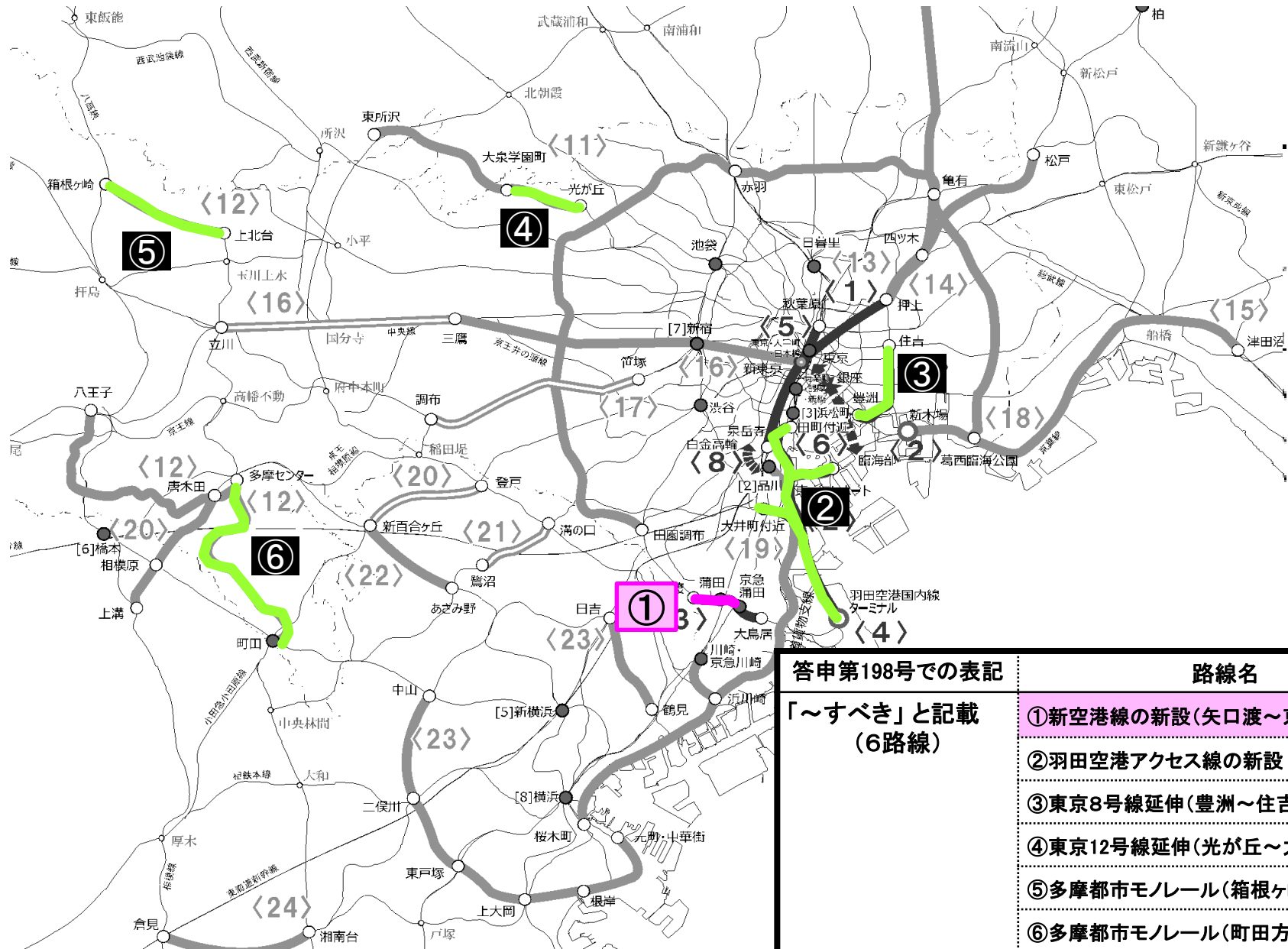
- ①「矢口渡から京急蒲田の事業計画の検討は進んでおり、事業化に向けて関係地方公共団体・鉄道事業者等において、費用負担のあり方等について合意形成を進めるべき」
- ②「大鳥居までの整備については、軌間が異なる路線間の接続方法等の課題があり、さらなる検討が行われることを期待。」

4. 答申第198号の内容(東京都内の鉄道整備計画について)

答申で示された路線は24路線 (うち都内のプロジェクトは17路線)

答申第198号での表記	路線名
「～すべき」と記載 (6路線)	①新空港線の 신설(矢口渡～京急蒲田)
	②羽田空港アクセス線の 신설
	③東京8号線延伸(豊洲～住吉)
	④東京12号線延伸(光が丘～大泉学園町)
	⑤多摩都市モノレール(箱根ヶ崎方面延伸)
	⑥多摩都市モノレール(町田方面延伸)
「～に期待」と記載 (11路線)	区部周辺部環状公共交通(エイトライナー) 東京8号線延伸(押上～野田市) 東京11号線の延伸(押上～松戸) JR総武線・京葉線接続新線 都心部・臨海地域地下鉄構想 都心部・品川地下鉄構想 など

4. 答申第198号の内容(東京圏鉄道網図)



答申第198号での表記	路線名
「～すべき」と記載 (6路線)	①新空港線の新設(矢口渡～京急蒲田)
	②羽田空港アクセス線の新設
	③東京8号線延伸(豊洲～住吉)
	④東京12号線延伸(光が丘～大泉学園町)
	⑤多摩都市モノレール(箱根ヶ崎方面延伸)
	⑥多摩都市モノレール(町田方面延伸)

4. 答申第198号の内容(鉄道ネットワークのプロジェクトの検討結果)

路線名	総事業費 (億円)	B/C (費用便益比)
新空港線の 신설(矢口渡~京急蒲田)	1,300	1.9
羽田空港アクセス線の 신설	3,400	1.1
東京8号線延伸(豊洲~住吉)	1,500	2.1~2.0
東京12号線延伸(光が丘~大泉学園町)	900	2.1~2.0
多摩都市モノレール(箱根ヶ崎方面延伸)	800	1.1~1.0
多摩都市モノレール(町田方面延伸)	1,700	1.3

5. 平成28年度調査の報告(新空港線整備計画)~答申を受けて~

○今回の整備

第一段階として、答申の内容に沿い、区内の東西交通の分断を解消するために東急多摩川線を複線で京急蒲田駅まで延伸する

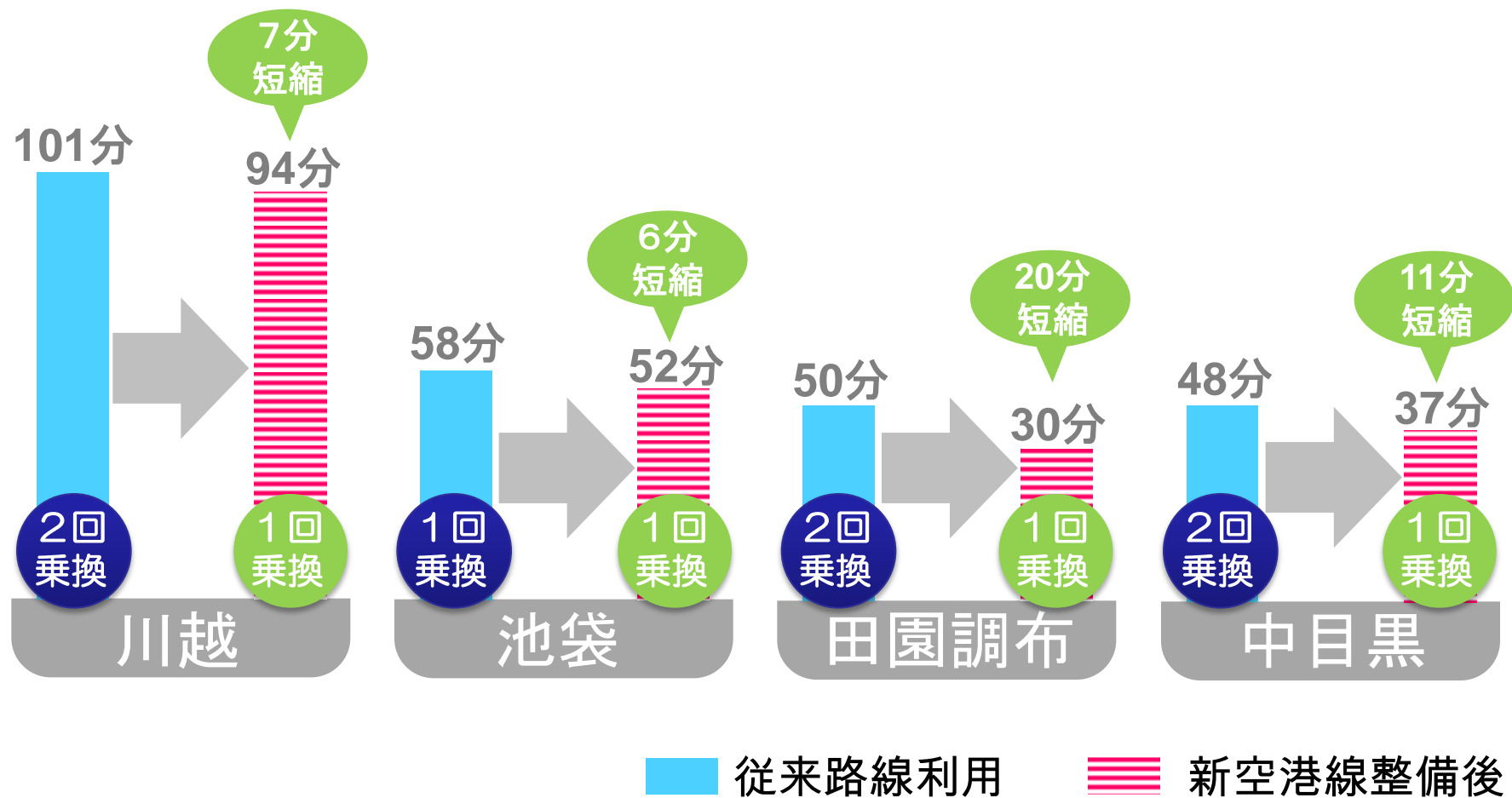
◆第一段階



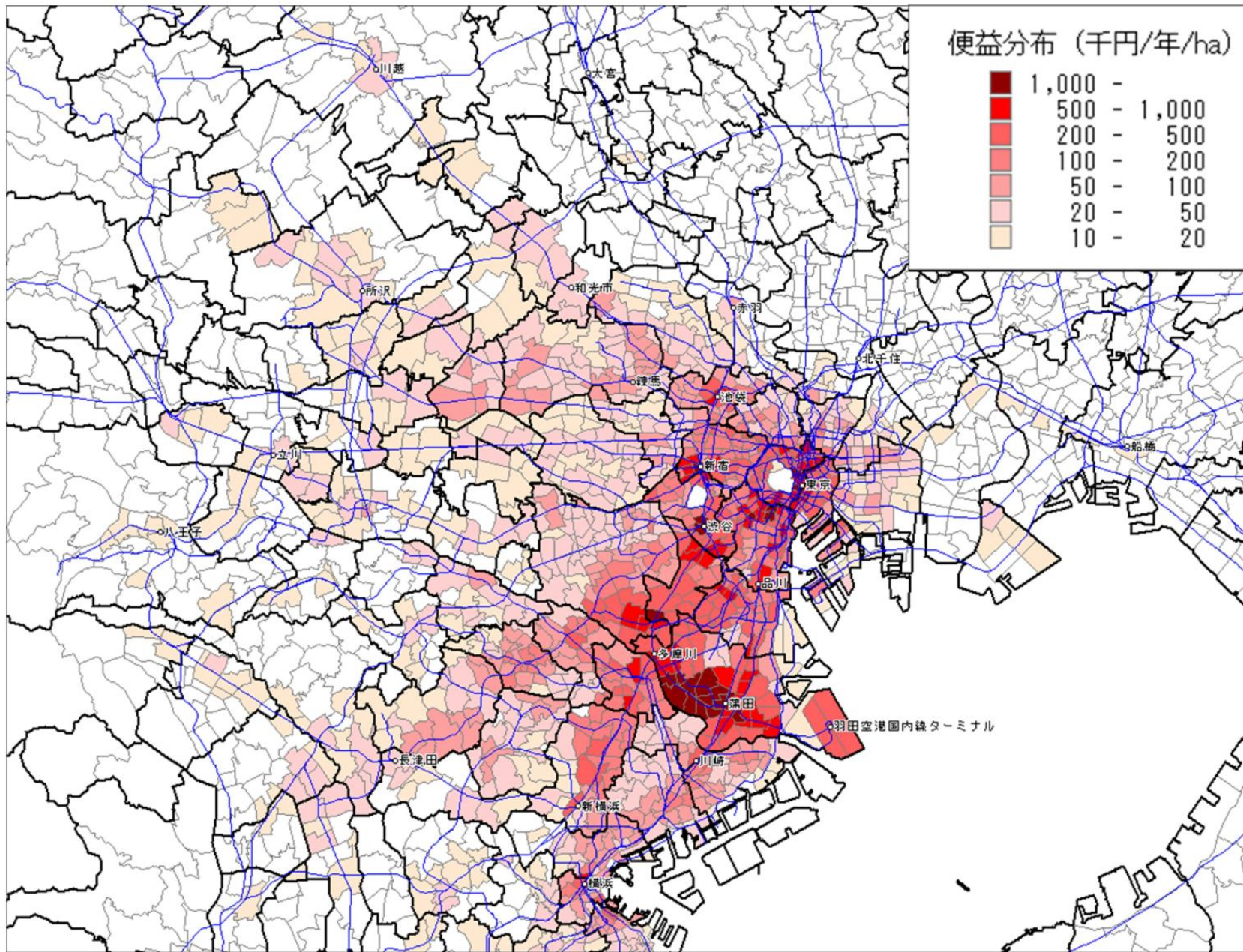
平成28年度調査結果

事業範囲	矢口渡～京急蒲田
概算事業費	1,260億円
B/C (費用便益比)	1.5 > 1.0 (開業後30年間の便益など)
累積資金収支 黒字転換年	31年
事業の枠組み	都市鉄道等利便増進法を想定
営業主体	東急電鉄

新空港線の整備（第一段階整備）による羽田空港までの
所要時間（目安）の変化



5. 平成28年度調査の報告(利用便益分布図)



○新空港線の早期整備実現に向けて

新空港線の矢口渡～京急蒲田間については、計画、事業内容、費用面の検討を進めてきました。

新空港線が整備されると、区内の東西方向の移動が格段に便利になります。また、羽田空港の航空需要の増加に対応した、空港アクセスの充実のためにも、新空港線の一日も早い実現に向けて全力で取り組んでまいりたいと考えております。

今後は、事業着手に向けて具体的に進める段階に移ってまいります。

来年度は、費用負担や財源等について関係者と話し合いを進めてまいります。

関係者合意が図られた後に、速やかに整備主体設立が出来るよう諸準備を進めてまいりますので、引き続き、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

